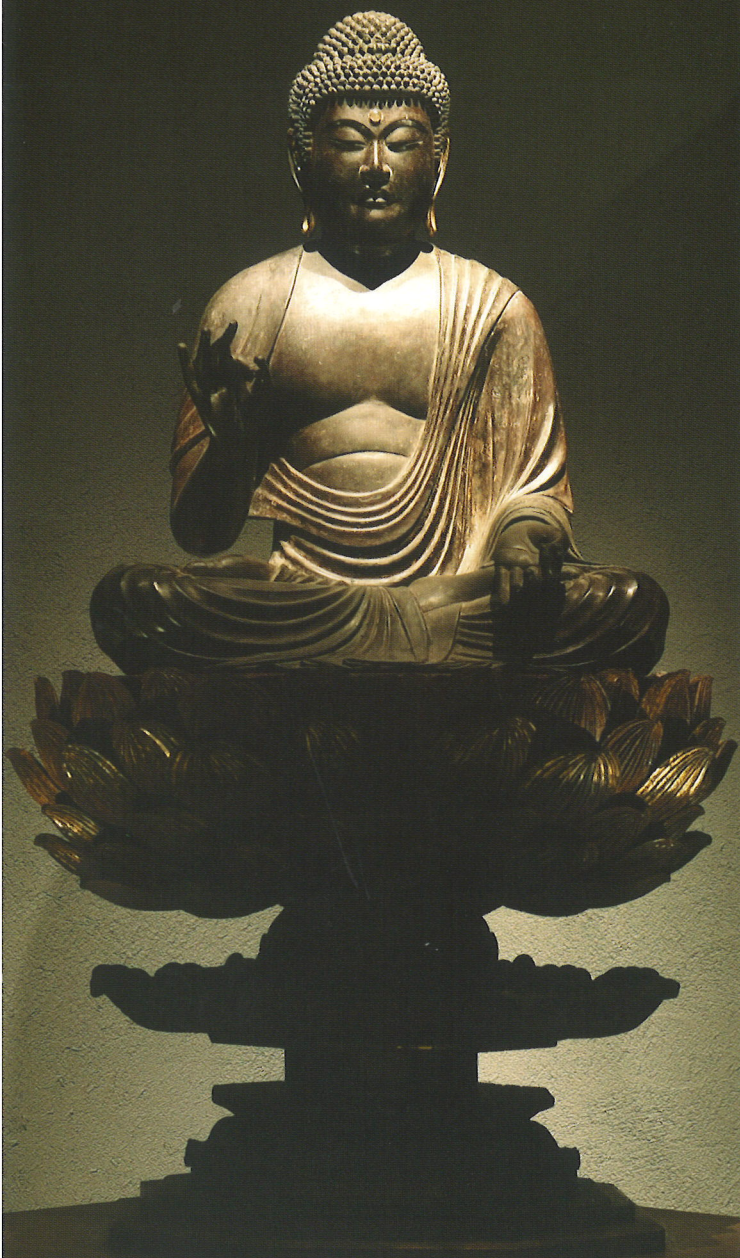


# かなみ仏の里美術館

Kannami Buddha statues Museum





# 十二神将立像

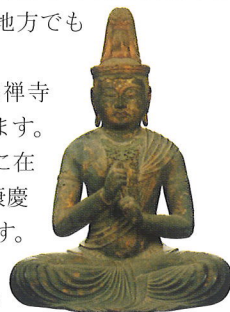


## 桑原「阿弥陀三尊像」を造った實慶と慶派

「慶派」は、平安末期以降に新しく栄えた仏師工房です。一門の仏師たちの名前の多くに「慶」の字が付くことから、そう呼ばれています。卓越した技術と力強い作風の「運慶」と、絵画的で繊細な作風の「快慶」が最もよく知られています。

鎌倉幕府の成立で権力を得た東国武士は、運慶ら奈良仏師の作る写実的で力強い作風を好んだとされ、すぐれた仏像のほとんどが近畿地方に集中する中、関東地方でも慶派の仏像が何体も作られました。

實慶は、桑原「阿弥陀三尊像」の他、修禪寺「大日如来像」の造像にも携わっています。その制作期間から考えると、当時関東に在住して活動していたと考えられます。康慶の弟子で運慶とは同年代と推測されます。



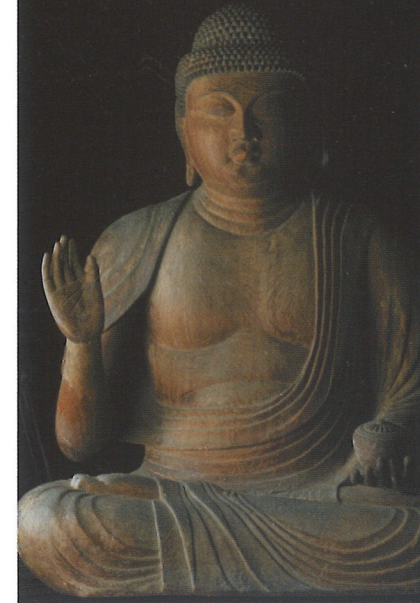
修禪寺・大日如来坐像  
實慶作(1210年・国指定重要文化財)

## 薬師如来坐像

静岡県指定有形文化財

本体像高 110.0cm

薬師如来坐像は、頭部から体幹部を針葉樹の一枚から彫出し、頭部は耳の後ろで割離し内刳を施し、体幹部は背中と像底から内刳を施しています。面奥が深く、胸から腹部に厚みをもたせ重量感があるが、面相は頬や顎にふくよかな円みがみられることから、制作年代は平安時代中期(十一世紀前半)と推測されます。



## 桑原薬師堂から かなみ仏の里美術館へ

函南町桑原区では、平安時代の「薬師如来像」や鎌倉時代の「阿弥陀三尊像」など、二十四体の仏像群が、里人の厚い信仰心によって守られてきました。

これら仏像群の散逸を防ぎ、後世に保存継承していくための施設として、明治30年代後半に桑原の有志により、長源寺の裏山中腹に「桑原薬師堂」が建てられました。

2008年(平成20年3月)に桑原薬師堂の二十四体の仏像群が、桑原区から函南町に寄付されました。そして町民の財産である貴重な文化財を後世に保存継承するとともに、多くの方々が鑑賞できる施設として「かなみ仏の里美術館」を設置しました。

## 阿弥陀如来及両脇侍像 国指定重要文化財

中尊像 本体像高 89.1cm 台座全高 84.7cm

阿弥陀如来及両脇侍像は、檜材一木割削造。奈良興福寺を本拠とした仏師工房「慶派」の実慶作で、写実的で力強い表現に優れ、はつらつとした作風には鎌倉時代初期の慶派の特色が表現されています。頬が張り、口角を引き締めて強い眼差しで前方を凝視する若々しい面貌(顔のかたち)や、やや細身の胴で締まった体型、ふくらみをもたせた地髪部の形状は慶派を代表する仏師運慶の作品に近づくものとされ、高く評価されています。







## 利用案内

開館時間 = 午前10:00～午後4:30

休館日 = 毎週火曜日(火曜日が祝日の場合は直後の平日休館)、12月29日～1月3日

観覧料 = 大人(高校生以上)300円、小中学生100円

かなみ仏の里美術館

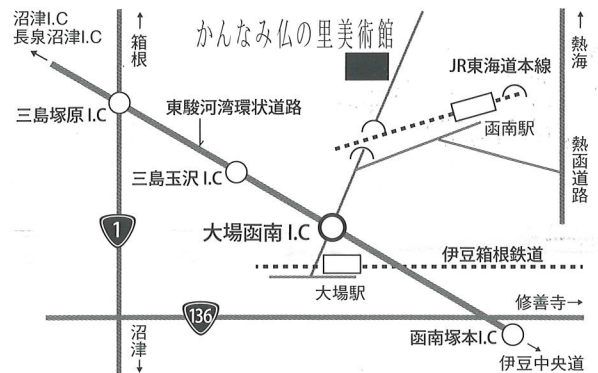
検索



団体でご来場の場合は

事前にご予約をおすすめします。

## アクセス



お車で 東名沼津ICまたは新東名長泉沼津ICより  
 東駿河湾環状道路「大場・函南IC」経由約25分  
 修善寺方面からは東駿河湾環状道路下の側道より  
 「大場・函南IC」交差点を右折

電車で 東海道本線「函南駅」より車で約5分  
 伊豆箱根鉄道「大場駅」より車で約15分



当館へのアクセス  
 (地図アプリを開きます。)

## 十二神将立像 静岡県指定有形文化財

本体像高 91.5cm～105.4cm

本尊薬師如来像に随侍していた十二神将立像。当初は鎌倉時代初期に制作されましたが、時代の変遷とともに傷んだり壊れたりした時に造り直しているため、鎌倉時代初期から江戸時代初期まで、制作年代の異なる像で構成されています。近年の解体修理によって、表面に塗られた後世の厚い彩色が除去され、本来の像容や構造がよく分かるようになりました。いずれの像もヒノキ材の一木割矧造(末神将像のみ内割りを施さない)、玉眼が嵌入されています。像高は1メートル前後と大型品で、十二体が揃っていることも貴重です。

# かなみ仏の里美術館

Kannami Buddha statues Museum

〒419-0101 静岡県田方郡函南町桑原89-1

Tel.055-948-9330 Fax.055-978-0894

ウェブサイト <http://www.kannami-museum.jp>